

(様式第9)

杏学発第21-100号  
平成21年10月 5日

厚生労働大臣 長妻 昭 殿

開設者名 学校法人 杏林学園  
理事長 松田博

杏林大学医学部付属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	383 人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業員の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	303人	258人	460.9人	看護業務補助	21人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	2人	1人	2.0人	理学療法士	14人	臨床 臨床検査技師	92人
薬剤師	42人	0人	42.0人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保健師	1人	0人	1.0人	視能訓練士	11人	検査 その他	0人
助産師	95人	2人	96.4人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	1,260人	10人	1,265.6人	臨床工学技士	21人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	3人	0人	3.0人	栄養士	0人	その他の技術員	4人
歯科衛生士	0人	0人	0.0人	歯科技工士	0人	事務職員	82人
管理栄養士	6人	4人	9.5人	診療放射線技師	54人	その他の職員	8人

- (注) 1 報告を行う当該年度10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	845.7人	0人	845.7人
1日当たり平均外来患者数	2,034.1人	19.0人	2,053.1人
1日当たり平均調剤数	1,445 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間実外来診療日で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション（前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療（心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査（産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯（顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴（腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療（顎関節症（顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。）に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法（神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法（歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術（内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。）	<input checked="" type="radio"/> 有・無	6 人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定（白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法（手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査（肺腫瘍に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断（アンチトロンビン欠乏症、第VII因子欠乏症、先天性アンチトロンピンIII欠乏症、先天性ヘパリンコファクターII欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験（消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断（頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験（消化器がん（根治度Cの胃がんを除く。）、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断（子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術（肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療（固形がんに係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術（角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断（特発性低身長症に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術（内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術（主に乳房温存手術が可能なステージI又はIIの乳がんに係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術（一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法（閉塞性動脈硬化症又はバージャー病（従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類III度又は同分類IV度のものに限る。）に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
ミトコンドリア病のDNA診断（高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術（透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
神経変性疾患のDNA診断（ハンチントン舞蹈病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。）	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術（再発黄斑片、角膜上皮欠損（角膜移植によるものを含む。）、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜瘻、角膜癒着（ステープルス・ジョンソン症候群、眼瞼天疱瘡、熱・化学外傷瘻その他の重症の瘻性角膜疾患を含む。）、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。）	有・無	人
重粒子線治療（固形がんに係るものに限る。）	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術（原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。）	有・無	人
31燐—磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断（糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。）	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療（腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛（保存治療に抵抗性のものに限る。）に係るものに限る。）	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断（BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。）	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術（インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。）	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断（マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。）	有・無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断（急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。）	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術（経皮的冠動脈形成術（エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。）による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。）	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法（原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。）	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術（膀胱尿管逆流症（国際分類グレードVの高度逆流症を除く。）に係るものに限る。）	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術（泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。）	有・無	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植（HLA適合ドナーがいないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。）	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術（頸椎椎間板ヘルニア（画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの（後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。））に係るものに限る。）	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断（水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。）	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療（慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病（重篤な虚血性心疾患又は脳血管障害を有するものを除く。）に係るものに限る。）	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療（慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病（従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるものに限る、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。）に係るものに限る。）	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術（双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例（妊娠十六週から二十週に限る。）に係るものに限る。）	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法（肺がん又は気管支がん病変に係るものに限る。）	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断（ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。）	有・無	人
超音波骨折治療法（四肢の骨折（治療のために手術中に行われるものを除く。）のうち、観血的手術を実施したもの（開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。）に係るものに限る。）	有・無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法（ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。）	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存（骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性（欠損性又は感染性偽関節に係るものに限る。）、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時（初回又は再置換術時に限る。）の広範骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。）	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術（難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないものに限る。）	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価（骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術（間質性膀胱炎に係るものに限る。）	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法（歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術（人工股関節のたるみに係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術（直腸脱に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建（骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション（原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法（腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍（食道がん、胃がん又は大腸がん）、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法（がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法（がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断（EBウイルス感染症に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術（尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍（精巣がんから転移したものに限る。）又は骨盤リンパ節腫瘍（泌尿器がんから転移したものに限る。）に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術（白内障に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性難聴の遺伝子診断（遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断（フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断（先天性代謝異常（ライソゾーム病に限る。）に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常（ライソゾーム病に限る。）が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術（手術進行期分類Ib期までの子宮体がんに係るものに限る。）	有・ <input type="radio"/> 無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
R E T 遺伝子診断 (甲状腺腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析 (角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・無	人
強度変調放射線治療 (限局性の固形悪性腫瘍 (頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。)) に係るものに限る。)	有・無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション (機能性及び器質性過多月経 (ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。)) であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・無	0 人
抗 E G F R 抗体医薬投与前における K R A S 遺伝子変異検査 ( E G F R 陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・無	人
光トポグラフィ検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助 ( I C D - 1 0 (統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件 (平成二十一年総務省告示第七十六号) の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。)) において F 2 (統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害) に分類される疾病及び F 3 (気分 (感情) 障害) に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者 (器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。)) に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下筋腫下不全穿通枝切離術 (下肢慢性静脈不全症 (下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)) に係るものに限る。)	有・無	人
歯科用 C A D ・ C A M システムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴 (小臼歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・無	人
大規模腫瘍に対する内視鏡的経眼下層切離術 (早期大腸がん ( E G R ) (内視鏡的経腸切離術をいう。以下同じ。)) では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。)) 又は腺腫 ( E M R を実施した際の病変の挙上不良なもの又は E M R を実施した後に遺残又は再発したものであって E M R では切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。)) に係るものに限る。)	有・無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援 (骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査 (閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状 (習慣性がある激しいびき、日中の傾眠等をいう。)) 及び所見 (肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。)) が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・無	人
リアルタイム P C R を用いた迅速診断 (単純疱疹ウイルス感染症又は水痘帯状疱疹ウイルス感染症に係るものであって、免疫不全のため他の方法による鑑別診断が困難なものに係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術 (頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	0 人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術 (転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	人
カフェイン併用化学療法 (骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術 (プルーン・ベリ一症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・無	人
筋過緊張に対する muscle afferent block ( M A B ) 治療 (ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法 (胸部悪性腫瘍 (従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)) に係るものに限る。)	有・無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法 (腎悪性腫瘍 (従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)) に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下甲状腺がん手術 (手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・無	人
骨腫瘍の C T 透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法 (転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫 (診断の確実なものに限る。)) に係るものに限る。)	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法 (一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術 (特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非炎症性胎児水腫症 ( N I H F ) 例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの (妊娠二十週から三十四週未満に限る。)) に係るものに限る。)	有・無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミン D (アナログ) 直接注入療法 (二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡補助下肝切除術 (部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援 (前立腺がんに係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス移植術 (虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・無	人

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ ベーチェット病	76 人	・ モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	27 人
・ 多発性硬化症	35 人	・ ウェグナー肉芽腫症	15 人
・ 重症筋無力症	42 人	・ 特発性拡張型(うっ血型)心筋症	7 人
・ 全身性エリテマトーデス	339 人	・ シャイ・ドレーガー症候群	人
・ スモン	2 人	・ 表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3 人
・ 再生不良性貧血	30 人	・ 膿疱性乾癬	5 人
・ サルコイドーシス	68 人	・ 広範脊柱管狭窄症	人
・ 筋萎縮性側索硬化症	人	・ 原発性胆汁性肝硬変	105 人
・ 強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	142 人	・ 重症急性膵炎	8 人
・ 特発性血小板減少性紫斑病	93 人	・ 特発性大腿骨頭壊死症	6 人
・ 結節性動脈周囲炎	1 人	・ 混合性結合組織病	60 人
・ 潰瘍性大腸炎	167 人	・ 原発性免疫不全症候群	1 人
・ 大動脈炎症候群	16 人	・ 特発性間質性肺炎	2 人
・ ビュルガー病	2 人	・ 網膜色素変性症	87 人
・ 天疱瘡	63 人	・ プリオン病	人
・ 脊髄小脳変性症	35 人	・ 原発性肺高血圧症	1 人
・ クローン病	59 人	・ 神経繊維腫症	5 人
・ 難治性の肝炎のうち劇症肝炎	5 人	・ 亜急性硬化性全脳炎	人
・ 悪性関節リウマチ	4 人	・ バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	人
・ パーキンソン病関連疾患	266 人	・ 特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	人
・ アミロイドーシス	2 人	・ ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	3 人
・ 後縦靭帯骨化症	人	・ 副腎白質ジストロフィー	人
・ ハンチントン病	1 人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① . 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② . 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	概ね1週間に2回 概ね1か月に9回		
剖検の状況	剖検症例数	64 例	剖検率 5.6 %

様式 1 1

1 研究補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
マイコプラズマ肺炎におけるリンパ球関連宿主免疫応答の解析	後藤 元 (主任・分担)	内科学 I	千円 500	補助 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 委託
総合的人体シミュレーションを目指したバーチャル心臓の機能モジュール化の研究	池田 隆徳 (主任・分担)	内科学 II	千円 200	補助 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (B) 委託
2 型糖尿病のインスリン分泌不全に対する酸化ストレスとマクロファージの関与の解明	石田 均 (主任・分担)	内科学 III	千円 900	補助 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 委託
消化器悪性腫瘍に対する標準治療確立のための他施設共同研究	古瀬 純司 (主任・分担)	内科学 (腫瘍科)	千円 4,000	補助 厚生労働省 がん研究助成金 委託
QOL の向上をめざしたがん治療法の開発研究	古瀬 純司 (主任・分担)	内科学 (腫瘍科)	千円 3,500	補助 厚生労働科学研究費 補助金 委託
癌胎児性抗原を利用した肝がんの超早期診断法と発症予防ワクチンの開発	古瀬 純司 (主任・分担)	内科学 (腫瘍科)	千円 1,000	補助 厚生労働科学研究費 補助金 委託
効率的転倒予測技術の開発と転倒予防介入による生活機能の持続的改善効果に関する縦断研究	鳥羽 研二 (主任・分担)	高齢医学	千円 21,620	補助 厚生労働科学研究費 補助金 委託
認知症の包括的ケア提供体制の確立に関する研究	鳥羽 研二 (主任・分担)	高齢医学	千円 2,000	補助 厚生労働科学研究費 補助金 委託

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
高齢者包括的・全人的医療に関わる標準的医療システムの開発に関する研究	鳥羽 研二 (主任・分担)	高齢医学	千円 1,500	補助 厚生労働省 長寿医療研究委託費 委託
アミノ酸トランスポーターを標的とする血管障害に対する新規治療戦略	神崎 恒一 (主任・分担)	高齢医学	千円 1,000	補助 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C) 委託
脳皮質下虚血病変と認知機能・老年症候群に関する横断的・縦断的研究	神崎 恒一 (主任・分担)	高齢医学	千円 1,000	補助 財団法人慢性患・リハビリテーション研究 振興財団 委託
QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究	井本 滋 (主任・分担)	外科学	千円 3,500	補助 厚生労働科学研究費 補助金 委託
心肺蘇生中の心電図解析に基づく抽出波形の早期認知システムの臨床応用・実用化にむけた検証	山口 芳裕 (主任・分担)	救急医学	千円 2,800	補助 総務省消防庁消防防 災 科学技術推進制度 委託
小児救急のあり方に関する研究	島崎 修次 (主任・分担)	救急医学	千円 800	補助 厚生労働科学研究費 補助金 委託
救急医療分野における延命治療中止の実態と諸問題に関する研究	小泉 健雄 (主任・分担)	救急医学	千円 300	補助 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C) 委託
腫瘍に対するヒストン脱アセチル阻害剤と細胞死シグナルによる新規治療法の開発	塩川 芳昭 (主任・分担)	脳神経外科学	千円 1,000	補助 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C) 委託



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
大都市圏脳卒中診療連携体制の構築	塩川 芳昭 (主任・ <input type="checkbox"/> 分担)	脳神経外科学	千円 800	<input type="checkbox"/> 補助 厚生労働科学研究費補助金 委託
わが国における脳卒中再発予防のための急性期内科治療戦略の確立に関する研究	塩川 芳昭 (主任・ <input type="checkbox"/> 分担)	脳神経外科学	千円 1,000	<input type="checkbox"/> 補助 厚生労働科学研究費補助金 委託
未破裂脳動脈瘤の治療指針と個別意思決定に関する研究	塩川 芳昭 (主任・ <input type="checkbox"/> 分担)	脳神経外科学	千円 1,200	補助 循環器病研究委託費 <input type="checkbox"/> 委託
重症脳卒中における生命倫理に関する研究	塩川 芳昭 (主任・ <input type="checkbox"/> 分担)	脳神経外科学	千円 800	補助 循環器病研究委託費 <input type="checkbox"/> 委託
脳神経外科病歴データベースの構築	塩川 芳昭 ( <input type="checkbox"/> 主任・分担)	脳神経外科学	千円 2,500	補助 日本脳神経財団 委託特別研究 <input type="checkbox"/> 委託
脳卒中関連学会参加助成	塩川 芳昭 ( <input type="checkbox"/> 主任・分担)	脳神経外科学	千円 1,000	<input type="checkbox"/> 補助 日本脳神経財団 学術集会助成 委託
悪性神経膠腫に対するTemozolomideの治療効果を増強した標準治療確立に関する研究	永根 基雄 (主任・ <input type="checkbox"/> 分担)	脳神経外科学	千円 600	<input type="checkbox"/> 補助 厚生労働科学研究費補助金 委託
希少悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	永根 基雄 (主任・ <input type="checkbox"/> 分担)	脳神経外科学	千円 1,000	<input type="checkbox"/> 補助 厚生労働省 がん研究助成金 委託

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
悪性神経腫瘍に対する複合的シグナル阻害剤による新規治療法の開発	永根 基雄 (主任・分担)	脳神経外科学	千円 900	補助 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C) 委託
Radiosurgery が脳血管内皮細胞および脳循環に与える影響に関する研究	栗田 浩樹 (主任・分担)	脳神経外科学	千円 1,900	補助 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C) 委託
悪性神経腫瘍に対する中性アミノ酸トランスポーター標的の新規治療法の開発	小林 啓一 (主任・分担)	脳神経外科学	千円 1,000	補助 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C) 委託
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	里見 和彦 (主任・分担)	整形外科	千円 1,000	補助 厚生労働科学研究費 補助金 委託
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	望月 一男 (主任・分担)	整形外科	千円 450	補助 厚生労働科学研究費 補助金 委託
骨組織におけるI型コラーゲン架橋と骨質・骨強度に関する研究	市村 正一 (主任・分担)	整形外科	千円 500	補助 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C) 委託
フコース転移酵素によるregulatory T細胞の皮膚特異的遊走能の制御	塩原 哲夫 (主任・分担)	皮膚科学	千円 2,600	補助 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(B) 委託

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
制御性T細胞によるB細胞分化の制御とウイルスの再活性化誘導の機序	狩野 葉子 (主任・分担)	皮膚科学	千円 1,100	補助 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C) 委託
IgEの生理学的役割の解析	水川 良子 (主任・分担)	皮膚科学	千円 1,700	補助 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C) 委託
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	塩原 哲夫 (主任・分担)	皮膚科学	千円 2,000	補助 厚生労働科学研究費 補助金 委託
顔面神経麻痺治療のための新デバイス開発	多久嶋 亮彦 (主任・分担)	形成外科学	千円 4,500	補助 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(B) 委託
炎症後色素沈着の機序の解明と低瘢痕創傷治癒に関する基礎的研究	岡崎 睦 (主任・分担)	形成外科学	千円 7,900	補助 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(B) 委託
生存率 QOL の向上を目指したがん切除後の形成再建手技の標準化	多久嶋 亮彦 (主任・分担)	形成外科学	千円 2,000	補助 厚生労働科学研究費 補助金 委託
がん外科治療における形成再建手技の確立に関する研究	多久嶋 亮彦 (主任・分担)	形成外科学	千円 1,200	補助 厚生労働省 がん研究助成金 委託
微小循環可視化モデルを用いた褥瘡発生機序の解明	大浦 紀彦 (主任・分担)	形成外科学	千円 1,500	補助 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C) 委託

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
下顎関節突起骨折におけるボツリヌス菌の毒素の利用	尾崎 峰 (主任・分担)	形成外科学	千円 1,900	補助 文部科学省 科学研究費補助金 若手研究 (B) 委託
Regenerative flap 開発	木下 幹雄 (主任・分担)	形成外科学	千円 1,600	補助 文部科学省 科学研究費補助金 若手研究 (B) 委託
末梢神経静脈吻合による、神経再生と骨格筋の再支配に関する研究	白石 知大 (主任・分担)	形成外科学	千円 700	補助 文部科学省 科学研究費補助金 若手研究 (B) 委託
血管柄分枝部の構造が穿通枝皮弁の血行に与える影響についての研究	佐藤 英 (主任・分担)	形成外科学	千円 500	補助 文部科学省 科学研究費補助金 若手研究 (B) 委託
進行性腎障害に関する調査研究班「多発性嚢胞腎」	東原 英二 (主任・分担)	泌尿器科学	千円 1,600	補助 厚生労働科学研究費 補助金 委託
ミトコンドリアによる細胞内カルシウム緩衝作用と脳保護	飯島 毅彦 (主任・分担)	麻酔科学	千円 900	補助 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 委託
免疫学的輸血副作用の把握とその対応に関する研究	飯島 毅彦 (主任・分担)	麻酔科学	千円 800	補助 厚生労働科学研究費 補助金 委託
手動および自動行動解析システムを用いた神経因性疼痛ラットの行動観察	森山 久美 (主任・分担)	麻酔科学	千円 500	補助 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究 (B) 委託

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
The FASEB Journal 平成 20 年 4 月発表	A protein deacetylase SIRT1 is a negative regulator of metalloproteinase-9.	和田 裕雄	内科学 I
Ann. Internal Med. 平成 20 年 4 月発表	Isolation of <i>Mycobacterium kyorinense</i> in a patient with respiratory failure.	和田 裕雄	内科学 I
Internal Medicine 平成 20 年 5 月発表	Clinical and radiological features of Pneumocystis pneumonia in patients with rheumatoid arthritis, in comparison with methotrexate pneumonitis and Pneumocystis pneumonia in acquired immunodeficiency syndrome: A multicenter study.	後藤 元	内科学 I
臨床神経学 平成 20 年 10 月発表	遷延した経過をたどった brainstem variant of reversible posterior leukoencephalopathy syndrome の一例	大石 知瑞子	内科学 I
Am. J. Physiol. 平成 20 年 5 月発表	JNK- and I $\kappa$ B-dependent pathways regulate MCP-1, but not adiponectin, release from artificially hypertrophied 3T3-L1 adipocytes preloaded with palmitate in vitro.	石田 均	内科学 III
日本内分泌学会雑誌 平成 20 年 6 月発表	腫瘍摘出後に高カルシウム血症と中枢性甲状腺機能亢進症を呈した Cushing 症候群の 2 症例	半田 桂子	内科学 III
Antimicrobial Agents and Chemotherapy 平成 20 年 8 月発表	Evaluation of Antibiotic Therapy for Eradication of " <i>Candidatus Helicobacter heilmannii</i> ".	高橋 信一	内科学 III
J. Gastroenterology and Hepatology 平成 20 年 10 月発表	Microcirculatory arteriation in low-grade gastric mucosa-associated lymphoma by <i>Helicobacter heilmannii</i> infection: Its relation to vascular endothelial growth factor and cyclooxygenase-2.	高橋 信一	内科学 III
Diabetes Res. Clin. Pract. 平成 20 年 10 月発表	Increased bone resorption may play a crucial role in the occurrence of osteopenia in patients with type 2 diabetes: possible involvement of accelerated polyol pathway in its pathogenesis.	石田 均	内科学 III

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
潰瘍 平成 20 年 12 月発表	<i>Helicobacter heilmannii</i> 感染と胃粘膜障害, 特に胃 MOLT リンパ腫形成に対する VEGF 抗体の効果	高橋 信一	内科学Ⅲ
Biochem. Biophys. Res. Commun. 平成 21 年 1 月発表	Exercise training decreases expression of inflammation-related adipokines through reduction of oxidative stress in rat white adipose tissue.	石田 均	内科学Ⅲ
日本ヘリコバクター学会誌 平成 21 年 1 月発表	わが国における薬剤耐性 <i>Helicobacter pylori</i> の現状 平成 18 年度耐性菌サーベイランス集計および 5 年間の集計報告	高橋 信一	内科学Ⅲ
日本内科学会誌 平成 21 年 3 月発表	ヘリコバクター感染症診断の実際	高橋 信一	内科学Ⅲ
Ann. Surg. Oncol. 平成 20 年 4 月発表	Systemic Therapy for Hepatocellular Carcinoma: Cytotoxic Chemotherapy, Targeted Therapy and Immunotherapy.	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)
Cancer Chemother Pharmacol. 平成 20 年 4 月発表	A late phase II study of S-1 for metastatic pancreatic cancer.	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)
Int. J. Clin. Oncol. 平成 20 年 4 月発表	Current status of chemoradiotherapy for locally advanced pancreatic cancer in Japan.	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)
臨床腫瘍プラクティス 平成 20 年 5 月発表	膵がんの診療と予後を考える. 化学療法の適応と実際	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)
消化器外科 平成 20 年 5 月発表	肝細胞癌の治療戦略. トピックス 分子標的治療	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
腫瘍内科 平成 20 年 6 月発表	国際共同臨床試験の現状と課題. 肝・胆道・膵がん	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)
肝胆膵 平成 20 年 7 月発表	肝内胆管癌-2008, up-to-date-化学療法による治療成績	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)
Crit. Rev. Oncol. Hematol. 平成 20 年 7 月発表	Growth factors as therapeutic targets in HCC.	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)
J. Hepatobiliary Pancreat Surg. 平成 20 年 9 月発表	Postoperative adjuvant treatments for biliary tract cancer.	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)
内科 平成 20 年 10 月発表	膵癌治療最前線. 新たな抗癌薬により長期生存を目指す. 膵癌に対する化学療法. 外来化学療法の実際と工夫	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)
Cancer Chemother Pharmacol. 平成 20 年 10 月発表	S-1 monotherapy as first-line treatment in patients with advanced biliary tract cancer: a multicenter phase II study.	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)
Drug Metab. Pharmacokinet 平成 20 年 10 月発表	Twenty novel genetic variations and haplotype structures of the DCK gene encoding human deoxycytidine kinase (dCK).	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)
臨床外科 平成 20 年 12 月発表	外科における adjuvant/neoadjuvant chemotherapy update. 胆道癌に対する術前・術後補助療法	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)
外科 平成 21 年 1 月発表	胆道癌診療ガイドラインを学ぶ—最新のエビデンスとコンセンサス. 非手術的治療. 胆道癌の化学療法に関するエビデンスとコンセンサス	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本臨床 平成 21 年 1 月発表	がん薬物療法学 - 基礎・臨床研究のアップデート - IV. 作用機序からみた抗悪性腫瘍薬の分類. 殺細胞性抗悪性腫瘍薬. 代謝拮抗薬 (フッ化ピリミジン・非フッ化ピリミジン)	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)
Cancer Chemother Pharmacol. 平成 21 年 1 月発表	A phase II study of S-1 in gemcitabine-refractory metastatic pancreatic cancer.	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)
コンセンサス癌治療 平成 21 年 2 月発表	ガイドラインに基づいた胆道癌の診断と治療. 胆道癌に対する化学療法	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)
胆と膵 平成 21 年 2 月発表	膵胆道領域の治療における私のこだわり: なぜそうするのか. 進行膵癌に対する化学療法-エビデンスとプラクティス	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)
肝胆膵 平成 21 年 3 月発表	肝胆膵悪性腫瘍に対する分子標的治療の現況と展望. 分子標的薬の現状と展望-EGFR を標的として	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)
Biotherapy 平成 21 年 3 月発表	癌治療とバイオマーカー. 肝癌におけるバイオマーカー	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)
Endocrinology 平成 20 年 4 月発表	Adiponectin Antagonizes Stimulatory Effect of TNF $\alpha$ on Vascular Smooth Muscle Cell Calcification: Regulation of Gas6-Mediated Survival Pathway by AMP-Activated Protein Kinase.	神崎 恒一	高齢医学
Geriatr Gerontol Int. 平成 20 年 6 月発表	White matter lesions as a feature of cognitive impairment, low vitality and other symptoms of geriatric syndrome in the elderly.	鳥羽 研二	高齢医学
Eur. J. Pharmacol. 平成 20 年 7 月発表	Raloxifene analogue LY117018 suppresses oxidative stress-induced endothelial cell apoptosis through activation of ERK1/2 signaling pathway.	神崎 恒一	高齢医学



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
IMMUNOLOGY 平成 20 年 7 月発表	$\beta_2$ -Adrenergic receptor regulates Toll-like receptor-4-induced nuclear factor- $\kappa$ B activation through $\beta$ -arrestin 2.	鳥羽 研二	高齢医学
日本臨床栄養学会雑誌 平成 20 年 7 月発表	高齢者の栄養評価における Knee-height による身長推定値の有用性に関する臨床研究	大荷 満生	高齢医学
日本老年医学会雑誌 平成 20 年 9 月発表	運動習慣を有する高齢女性における転倒リスク	菊地 令子	高齢医学
Osteoporosis Japan 平成 20 年 10 月発表	骨粗鬆症予防に対する地域在住高齢者を対象とした転倒予防運動教室の効果に関する研究	鳥羽 研二	高齢医学
日本老年医学会雑誌 平成 20 年 11 月発表	認知症高齢者の意欲低下に関連する脳血流分布	鳥羽 研二	高齢医学
cilnidipine.Geriatr Gerontol Int. 平成 20 年 12 月発表	Stress-induced blood pressure elevation in subjects with mild cognitive impairment: effects of the dual-type calcium channel blocker.	鳥羽 研二	高齢医学
The International Journal of Neuropsychopharmacology 平成 21 年 3 月発表	A randomized cross-over study of a traditional Japanese medicine(kanpo),yokukansan,in the treatment of the behavioural and psychological symptoms of dementia.	鳥羽 研二	高齢医学
Am. J. Neuroradiol. 平成 21 年 3 月発表	Attenuation of brain white matter hyperintensities after cerebral infarction.	鳥羽 研二	高齢医学
Clinical Neurophysiology 平成 20 年 4 月発表	Changes in regional cerebral blood flow after low-frequency transcranial magnetic stimulation in treatment-resistant depression.	鬼頭 伸輔	精神神経科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Psychogeriatrics 平成 20 年 6 月発表	Amnesia due to left hippocampal hemorrhage.	鬼頭 伸輔	精神神経科学
Neuropsychobiology 平成 20 年 10 月発表	Regional cerebral blood flow changes after low-frequency transcranial magnetic stimulation of the right dorsolateral prefrontal cortex in treatment-resistant depression.	鬼頭 伸輔	精神神経科学
臨床脳波 平成 21 年 2 月発表	Diffusion tensorimaging による統合失調症患者の白質病変の研究	鬼頭 伸輔	精神神経科学
腎と透析 平成 20 年 6 月発表	ネフリンと免疫抑制薬	楊 國昌	小児科学
医学のあゆみ 平成 20 年 8 月発表	免疫抑制薬の障害ポドサイト救済作用	楊 國昌	小児科学
Nephrology Frontier 平成 20 年 9 月発表	免疫抑制薬の糸球体上皮保護機序と抗蛋白尿作用	楊 國昌	小児科学
小児科 平成 20 年 9 月発表	Drug-induced hypersensitivity syndrome の 1 例	中村 由紀子	小児科学
Laboratory Investigation 平成 21 年 2 月発表	Expression of galectin-1, a new component of slit diaphragm, is altered in minimal change nephritic syndrome.	清水 マリ子	小児科学
Hum. Pathol. 平成 20 年 5 月発表	Histopathologic factors significantly associated with initial organ-specific metastasis by invasive ductal carcinoma of the breast: a prospective study.	井本 滋	外科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
The Breast 平成 21 年 2 月発表	Feasibility study on radiofrequency ablation followed by partial mastectomy for stage I breast cancer patients.	井本 滋	外科学
日本手の外科学会雑誌 平成 20 年 11 月発表	虫様筋が原因と考えられた両側手根管症候群の 1 例	山田 賢治	救急医学
日本腹部救急医学会雑誌 平成 20 年 11 月発表	鈍的腹部外傷受傷後約 2 週間を経て発症した中結腸動脈損傷に伴う腸間膜内出血の 1 例	玉田 尚	救急医学
骨折 平成 21 年 2 月発表	手指骨骨折に対する Hoffmann II micro 創外固定の使用経験	大畑 徹也	救急医学
Journal of Burn Care & Research 平成 21 年 3 月発表	Lecithinized Superoxide Dismutase Suppresses Free Radical Substrates During the Early Phase of Burn Care in Rats.	小泉 健雄	救急医学
癌と化学療法 平成 20 年 6 月発表	Central Nervous System Tumor 脳腫瘍グリオーマ III 悪性グリオーマ治療における薬剤耐性機構の最近の知見・temozolomide 耐性・分子標的薬・脳腫瘍幹細胞	永根 基雄	脳神経外科学
脳卒中の外科 平成 20 年 11 月発表	杏林大学病院における大都市型 stroke unit の新規開設と今後の展望・t-PA 静注療法施行体制確立の観点から	脊山 英徳	脳神経外科学
脳卒中の外科 平成 21 年 1 月発表	急性期破裂脳動脈瘤の治療選択の現状（第一報）2005 年前向き集計	塩川 芳昭	脳神経外科学
脳卒中の外科 平成 21 年 1 月発表	急性期破裂脳動脈瘤の治療選択の現状（第二報）2005 年前向き集計と 1994 年前向き集計との比較	塩川 芳昭	脳神経外科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
脳 21 平成 21 年 1 月発表	グリオーマの新しい治療薬 temozolomide (TMZ, テモダール) の最近の話題 MGMT と temozolomide (TMZ)	永根 基雄	脳神経外科学
CURRENT INSIGHTS IN Neurological Science 平成 21 年 2 月発表	脳動静脈奇形	丸山 啓介	脳神経外科学
胸部外科 平成 21 年 2 月発表	Fallot 四徴症根治術後の遺残短絡, 三尖弁閉鎖不全, 肺動脈弁閉鎖不全, 心房細動に対する手術	窪田 博	心臓血管 外科学
Progress in Medicine 平成 20 年 4 月発表	SERM とビスフォスフォネート製剤の使い分け	市村 正一	整形外科
The Open Orthopaedics Journal 平成 20 年 5 月発表	Clinical Significance of Additional Wide Resection for Unplanned Resection of High Grade Soft Tissue Sarcoma.	森井 健司	整形外科
Annals of Nuclear Medicine 平成 20 年 11 月発表	Occult myofibroblastic sarcoma detected on FDG-PET performed for cancer screening.	森井 健司	整形外科
日本脊椎脊髄病学会雑誌 平成 20 年 11 月発表	Spinal shortening osteotomy for the paraplegia after osteoporotic vertebral fracture.	市村 正一	整形外科
Ann. Plast Surg. 平成 21 年 3 月発表	Soft tissue reconstruction using vascularized tissue transplantation following resection of musculoskeletal sarcoma -Evaluation of oncological and functional outcomes in 55 cases-	森井 健司	整形外科
臨床皮膚科 平成 20 年 4 月発表	サイトメガロウイルスによる消化管出血をきたした薬剤性過敏症候群の 1 例	何川 宇啓	皮膚科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin. Exp. Dermatol. 平成 20 年 6 月発表	In vivo dynamics of intraepidermal CD8+ T cells and CD4+ T cells during the evolution of fixed drug eruption.	水川 良子	皮膚科学
アレルギー・免疫 平成 20 年 8 月発表	アトピー性皮膚炎と抗ウイルス自然免疫	塩原 哲夫	皮膚科学
臨床免疫・アレルギー科 平成 20 年 11 月発表	薬剤アレルギーの発症要因としての感染症	塩原 哲夫	皮膚科学
Acta Derm. Venereol. 平成 20 年 11 月発表	HLA-B allele associations with certain drugs are not confirmed in Japanese patients with severe cutaneous drug reactions.	狩野 葉子	皮膚科学
Curr. Allergy Asthma Rep. 平成 20 年 12 月発表	Fixed drug eruption: a prototypic disorder mediated by effector memory T cells.	水川 良子	皮膚科学
形成外科 平成 20 年 4 月発表	臍欠損に対する造臍術について	白石 知大	形成外科学
Aesth. Plast. Surg. 平成 20 年 5 月発表	A Double-Blind, Randomized, Placebo-Controlled, Two-Dose Comparative Study of Botulinum Toxin Type A for Treating Glabellar Lines in Japanese Subject	波利井 清紀	形成外科学
日本マイクロ会誌 平成 20 年 6 月発表	手術用顕微鏡の光源によって熱傷をきたした 1 例	栗田 昌和	形成外科学
Facial Nerv. Res. 平成 20 年 7 月発表	異常共同運動に対する手術前後の定量的評価	白石 知大	形成外科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Plast. Reconstr. Surg. 平成 21 年 2 月発表	Ninety-degree transposed free jejunal patch transfer for hypopharyngeal reconstruction following partial hypopharyngectomy.	岡崎 睦	形成外科学
Jpn. J. Endourol. ESWL 平成 20 年 5 月発表	ホルミウムレーザー碎石装置 Odyssey 30 を用いた尿路結石の治療成績	奴田原 紀久雄	泌尿器科学
J. Urol. 平成 20 年 8 月発表	Immunomagnetic quantification of circulating tumor cells as a prognostic factor of androgen deprivation responsiveness in patients with hormone naive metastatic prostate cancer.	桶川 隆嗣	泌尿器科学
Nephrol. Dial. Transplant 平成 20 年 9 月発表	The effect of eicosapentaenoic acid on renal function and volume in patients with ADPKD.	東原 英二	泌尿器科学
Int. J. Urol. 平成 20 年 10 月発表	Comparison of transperitoneal and retroperitoneal laparoscopic nephrectomy for renal cell carcinoma: a single-center experience of 100 cases.	桶川 隆嗣	泌尿器科学
Molecular Human Reprod 平成 20 年 8 月発表	Insulin - like growth factor binding protein-1 induces decidualization of human endometrial stromal cells via $\alpha 5\beta 1$ integrin.	松本 浩範	産科婦人科学
日産婦関東連合 東京地方部誌 平成 20 年 8 月発表	Atypical polypoid adenomyoma に複雑型子宮内膜異型増殖症を合併した 1 症例	綱脇 智法	産科婦人科学
日産婦東京地方部会誌 平成 20 年 12 月発表	低フィブリノーゲン血症合併妊娠の 1 例	上原 一郎	産科婦人科学
周産期医学 平成 21 年 2 月発表	胎児の発育	谷垣 伸治	産科婦人科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin. Radiol. 平成 20 年 12 月発表	Cerebral CT angiography using a reduced dose of contrast material at high iodine concentration in combination with a saline flush.	土屋 一洋	放射線医学
J. Jpn. Soc. Ther. Radiol. Oncol. 平成 20 年 12 月発表	Effect of breast aummentation after breast conserving surgical theraph for breast cancer on radiation dose-Silicone prosthesis and changes in radiation dose.	戸成 綾子	放射線医学
Neurochemical Research 平成 20 年 6 月発表	Ca <sup>2+</sup> buffering capacity of mitochondria after oxygen-glucose deprivation in hippocampal neurons.	飯島 毅彦	麻酔科学
Neuroscience Letter 平成 20 年 11 月発表	Calcium loading capacity and morphological changes in mitochondria in an ischemic preconditioned model.	飯島 毅彦	麻酔科学
Pediatric hematology and oncology 平成 20 年 4 月発表	Faggot formation in mature neutrophils and metamyelocytes in acute myeloid leukemia without maturation.	大西 宏明	臨床検査医学
The Biochemical journal 平成 20 年 5 月発表	Insulin exocytosis in Goto-Kakizaki rat $\beta$ -cells subjected to long-term glinide or sulfonylurea treatment.	渡邊 卓	臨床検査医学
Clinica chimica acta; international journal of clinical chemistry 平成 20 年 8 月発表	Visceral fat thickness in overweight men correlates with alterations in serum fatty acid composition.	岸野 智則	臨床検査医学
British journal of haematology 平成 21 年 3 月発表	A novel JAK2 splicing mutation in neonatal myeloproliferative disorder accompanying congenital anomalies.	大西 宏明	臨床検査医学
総合リハビリテーション 平成 20 年 8 月発表	「仮の要介護状態」とその対応	山田 深	リハビリテーション医学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
総合リハビリテーション 平成 20 年 12 月発表	Stroke Unit の 10 年 -杏林大学医学部附属病院脳卒中センターの取り組み	山田 深	リハビリテーション 医学
臨床スポーツ医学 平成 20 年 12 月発表	COPD と運動-包括的呼吸リハビリテーションにおける位置づけ-レジスタンストレーニングの効果と進め方	山田 深	リハビリテーション 医学
Disabil Rehabil 平成 21 年 3 月発表	Development of a screening tool to identify quasi-in-need-of-care state (QUINOCS) in the community based on the short version of the Functional Independence Measure (FIM)	山田 深	リハビリテーション 医学



(様式12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 東原 英二
管理担当者氏名	医療安全管理室長 甲能 直幸 看護部長 福井 トシ子、事務部長 原 哲夫、中野 利晴、関根 康央 副部長 高戸谷 繁通、野尻 一之、山崎 昭、庶務課長 小林 きよ子、 医事課長 野尻 一之(兼務)、高戸谷 繁通(兼務)、薬剤部長 永井 茂 診療情報管理室長 奴田原 紀久雄、検査部長 渡邊 卓、放射線部長 似鳥 俊明 検査部技師長 大藤 弥穂、放射線技師長 大戸 真喜男、 医学部事務部 部長 黒田 雅夫

	保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、 手術記録、看護記録、検査所見記録、 エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院 期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	関係各部署	入院、外来等については、 一患者一ファイル方式とし、 管理している	
病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	従業者数を明らかにする帳簿	庶務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医学部	
	高度の医療の研修の実績	各診療科	
	閲覧実績	庶務課	
	紹介患者に対する医療の提供の実績	地域医療連携室	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	庶務課 薬剤部	
	確保の 状況 規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全管理室
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理室
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室		

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医療安全管理室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療安全管理室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療安全管理室
		感染症の発症状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理室
		医薬品の使用に係る安全管理のための責任者の配置状況	薬 剤 部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬 剤 部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬 剤 部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬 剤 部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学室
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学室
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学室

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 東原 英二
閲覧担当者氏名	医療安全管理室長 甲能 直幸 看護部長 福井 トシ子、事務部長 原 哲夫、中野 利晴、関根 康央 副部長 高戸谷 繁通、野尻 一之、山崎 昭、庶務課長 小林 きよ子、 医事課長 野尻 一之(兼務)、高戸谷 繁通(兼務)、薬剤部長 永井 茂 診療情報管理室長 奴田原 紀久雄、検査部長 渡邊 卓、放射線部長 似鳥 俊明 検査部技師長 大藤 弥穂、放射線技師長 大戸 真喜男、 医学部事務部 部長 黒田 雅夫
閲覧の求めに応じる場所	庶務課 医療安全管理室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	2 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 1 件
	地方公共団体	延 1 件

○紹介患者に対する

紹介率	51.8%	算定期間	平成20年 4月 1日～平成21年 3月31日
算出根拠	A : 紹介患者の数	19,282 人	
	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	10,187 人	
	C : 救急用自動車	6,821 人	
	D : 初診の患者の数	59,896 人	

(様式13-2)

規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(2名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・所属職員: 専任(8)名 兼任(28)名 ・活動の主な内容: リスクマネジメント委員会で用いられる資料、議事録の作成・保存及び委員会の庶務。事故等に関する診療録・看護記録等の記載内容確認及び指導。事故発生時の患者等への対応状況の確認及び指導。事故等の原因究明の適切な実施の確認及び指導。医療安全に関する連絡・調整、他。	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・指針の主な内容: 医療安全管理の基本的考え方。リスクマネジメント委員会、医療安全管理室の主な役割、医療安全管理のための職員研修実施の基本方針。事故発生後の対応方針。医療従事者と患者及びその家族等との情報共有の基本方針、他。	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・活動の主な内容: 重大な問題発生時の原因分析、改善策立案及び職員への周知。リスクマネジメント委員会で立案した改善策の実施状況調査と見直し。職員研修の企画・実施。 (平成20年度活動例; 動脈カテーテル手技における穿刺・止血マニュアル、抑制(身体拘束)の実施に関するマニュアル、医師のオーダー不能時のO型赤血球輸血の手順の作成)	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 14 回
・研修の主な内容: 医療安全管理に関する基本的な考え方と具体的方策及び職員の責務、当院及び他の医療機関で発生した事例の原因と改善策等 (平成20年度実施例; CVC挿入・管理の体制について、臨床における倫理、医療の質・安全を担保するために)	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無 ) ・その他の改善のための方策の主な内容: 専任リスクマネージャーの職場巡視による改善策の実施状況の確認及び再評価、リスクマネージャーの事例検討による改善策の立案、インシデントレポートの検討・改善策の立案、院内広報誌での改善策の周知徹底、e-ラーニングによる理解度の確認及び評価、医療安全情報(医療機能評価機構)等の伝達、学内LANを利用した重要な決定事項の掲載、他。	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>院内感染防止対策に関する基本的考え方。院内感染防止委員会・ICTの役割。          院内感染防止対策のための職員研修実施の基本方針。院内感染発生時の報告と対策に          対する基本方針。指針改定及び閲覧に関する基本方針。他</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 11回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>重大な院内感染発生時の原因分析、改善策立案及び職員への周知、院内感染防止委員          会・ICTで立案した改善策・指導の実施状況調査と見直し。職員研修の企画実施。          （平成20年度活動例）</p> <p>血管確保に伴うヘパリン生食の活用方法に関する取り決めの作成、採血穿刺器具（針          の周辺部分がディスposableでないもの）のカバーの取り扱いに関する対策、新型          インフルエンザ発生時の対応の実施</p> <p>手洗い強化月間、針刺し事故防止強化月間企画・実施</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 5回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>院内感染防止に関する基本的な考え方。感染症発生時の対応方法。当院及び他の医療          機関で発生した事例の原因と改善策。          （平成20年実施例）</p> <p>針刺し・血液曝露防止に向けて、当院におけるSSIサーベイランスの現状、冬期に          流行する感染症、当院における新型インフルエンザ対策の取り組み、感染対策の基礎          ～手洗いを中心に～</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>ICTの病棟巡視による改善策の実施状況の確認及び再評価、院内広報誌での改善策          の周知徹底、e-ラーニングによる理解度の確認及び評価、学内LANを利用した重要          な決定事項の掲載、インフェクションコントロールマネージャー（各部署の院内感染          担当者）を通じた決定事項の伝達と評価</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	①・無
② 従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 2回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器の説明及び、使用方法について (特定医療機器に関して年2回以上の計画をたてそれに沿って行っている)</li> <li>(特定医療機器：人工呼吸器・血液浄化器・除細動器・閉鎖式保育器 など)</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の策定 (有・無)</li> <li>・ 保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>機器毎の保守点検マニュアルに沿って、日常点検及び定期点検</li> </ul> </li> </ul>	
④ 医療機器の安全使用のための必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (④・無)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 添付文書・取扱説明書等は、臨床工学室で担当者を決めて保管・管理を行う</li> <li>・ 安全性情報等は臨床工学室で情報収集し、医療安全管理室と連携する。</li> <li>・ 医療機器の不具合情報を入手した場合は速やかに関連部署に連絡し医療機器安全管理責任者・医療機器管理委員長・医療安全管理室に連絡し必要な対応を行う</li> </ul> </li> </ul>	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 5回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品の安全管理について</li> <li>・ 処方せんの記載方法について</li> <li>・ インスリン注射薬の選択・薬剤の管理と投与方法について</li> <li>・ がん性疼痛の薬物療法</li> <li>・ 看護師による静脈注射が可能な薬剤の注意点と配合変化について</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 (有)・無</li> <li>・ 業務の主な内容： <p style="margin-left: 40px;">手順書の設置と手順書に基づく実施状況については、部署別リスクマネージャーに実施確認チェック票を提出させて確認している。</p> <p style="margin-left: 40px;">問題のある部署には直接当該部署に訪問して確認している。</p> </li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のための必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リウマトレックスが他の薬剤と一緒に連日投与で処方されたインシデント <p style="margin-left: 40px;">⇒処方箋発行時にリスク情報画面が表示され注意喚起した。</p> </li> <li>・ 他院でサクシン（筋弛緩薬）をサクシゾン（ステロイド薬）と間違えてオーダーした死亡事 <p style="margin-left: 40px;">⇒サクシンを注射オーダーから削除した。</p> </li> <li>・ ノルバスク（高血圧薬）とノルバデックス（乳がん）の入力間違いによるインシデント <p style="margin-left: 40px;">⇒ノルバスク・・・「ノルバ」で検索、ノルバデックス・・・「タモキシフェン」で検索するように変更した。</p> </li> </ul> </li> </ul>	